

水産庁次期漁港漁場整備長期計画と千葉県圏域計画について

1. 水産庁次期漁港漁場整備長期計画について

水産庁において、新たな長期計画(平成 29 年度～平成 33 年度)の策定に向け、今後の漁港漁場整備のあり方を検討中。 ⇒ 平成 29 年 3 月閣議決定予定

○水産物の競争力強化と輸出促進

- ・水産物の安定生産体制の確保
- ・国産水産物輸出額の倍増計画



- ・漁港機能の再配置と強化
- ・生産から出荷までの一貫した高度衛生管理対策 など

○海域の生産力向上

- ・水産資源の低迷
- ・広域的かつ大規模な磯焼けの発生
- ・海水温上昇等生息環境の変化



- ・広域的な藻場・干潟対策
- ・沖合漁場整備の更なる展開
- ・地球温暖化に対応した水産環境整備 など

○大規模自然災害への備え

- ・南海トラフ等切迫する大規模地震
- ・頻発する巨大台風
- ・老朽化の進む漁港施設



- ・耐震・耐津波・耐波浪対策の強化
- ・業務継続計画の導入
- ・戦略的な施設の長寿命化対策 など

○漁業地域の活性化

- ・本格的な人口減少社会の到来
- ・地域の担い手不足
- ・外国人観光客の増加



- ・漁港ストックのフル活用
- ・女性、高齢者の活躍支援
- ・地域資源の掘り起こしと交流人口の拡大 など

2. 千葉県圏域総合水産基盤整備事業計画について

水産庁の次期長期計画に沿って、水産局で千葉県の圏域計画を策定作業中。

漁場においては、海域の生産力向上を目指し、現在実施中の水産環境事業基本計画を継続実施していくほか、水産多面的機能発揮対策事業などと連携した藻場・干潟の保全を目的としたビジョンを策定し運用していく。

